

ポリテクセンター岩手

企業の
生産現場が抱える
課題の解決を
サポートします!!



一人一人の能力を
伸ばします!



go



能力開発 セミナーの ご案内

会社の課題と
向き合います!



good



マヒにススム

2025年
4月

2026年
3月



JEED

らしく、はたらく、ともに

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部
岩手職業能力開発促進センター

ポリテクセンター岩手



申込方法

P.1

施設内マップ

P.2

コース一覧

P.3~4

機械系

P.5~12

電気・電子系

P.13~18

居住系

P.19~24

各種ご案内・
お問い合わせ

P.25~30

お申し込みからご受講まで

お申し込み

「受講申込書（裏表紙）」に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXでお申し込みください。

締切

原則として、開講日の2週間前までの受付となります。

受講票・請求書の発送

開講日の2週間前を目処に、「受講票」および「請求書」などを発送します。

受講料のご入金

開講日の1週間前までに、請求書明記の銀行口座に受講料をお振り込みください。

※振込手数料はご負担願います。

※受講料は消費税を含んでいます。

セミナーご受講

受講票、筆記用具、その他コースで指定されたものをご持参ください。

出席時間がコースの総訓練時間の80%（総訓練時間が12時間の場合100%）を満たしている場合、修了証書を交付します。

セミナー終了後、すべての受講者およびその事業主の方に対して、コース内容の満足度などに関するアンケート調査へのご協力をお願いしています。

■受講変更について

セミナー開講日の3日前（土日・祝日にあたる場合はその前日）までに、ご連絡ください。

■受講取消（キャンセル）について

セミナー開講日の2週間前（土日・祝日にあたる場合はその前日）までに、ご連絡ください。それ以降の取消（キャンセル）やご連絡が無い場合は、受講料をご負担いただきます。

■コースの中止・延期について

お申し込みが少数などの場合、コースを中止または延期させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。中止または延期させていただく場合、開講日の2週間前を目途にご連絡いたします。なお、コース中止の場合、受講料は返金いたします。

施設内マップ



教室・実習場

- 本館棟 2階 パソコン室(1) / パソコン室(2) / 生産設備教室
生産設備実習室 / 多目的ホール
- 1号棟 1階 ビル管理実習場
2階 電気実習場
- 2号棟 住宅実習場
- 3号棟 機械実習場 / 板金実習場
- 4号棟 溶接実習場 / 教室

その他

- 本館棟 1階 訓練課
※各種お問い合わせはこちらまで
- 1号棟 1階 訓練生ホール
※休憩や食事場所としてご利用ください
※自動販売機(飲料のみ)を備えています

2025
年度

ポリテクセンター岩手 セミナーコース一覧

機械系

コース番号	コース名	日数	受講料	4月	5月
3M011	2次元CADによる機械製図技術	4	15,000		
3M101	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	3	11,000		
3M201	精密測定技術	2	10,000		
3M301	NC旋盤プログラミング技術	4	17,000		
3M401	マシニングセンタプログラミング技術	4	16,500		
3M441	CAM技術 DX	2	10,000		
3M501	旋盤加工技術	3	16,500		
3M601	フライス盤加工技術	3	16,500		
3M551	旋盤加工技術（溝・ねじ切り加工含） NEW	2	11,500		
3M651	フライス盤加工技術（勾配・あり溝加工含） NEW	2	14,000		
3MA01	半自動アーク溶接技能クリニック	2	16,000		
3MA21～2	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	2	15,000		
3MA31	アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック	2	16,500		

電気・電子系

コース番号	コース名	日数	受講料	4月	5月
3D001～2	現場のための電気保全技術	3	12,000		
3D101～2	有接点シーケンス制御の実践技術	2	8,500		
3D111	シーケンス制御による電動機制御技術	2	8,500		
3D201～3	実践的PLC制御技術	2	8,000		19,20
3D211～2	PLC制御の回路技術	2	8,000		22,23
3D221	PLC制御の応用技術	3	11,500		
3D231	PLCによる電気空気圧技術	3	11,500		
3D241	PLCによるタッチパネル活用技術	2	8,000		
3D261	電動アクチュエータの実践的活用技術 NEW	3	11,500		

居住系

コース番号	コース名	日数	受講料	4月	5月
3H041	VRソリューションを活用した実践建築設計3次元CAD技術 DX NEW	2	10,000		
3H051	BIMを用いた建築設計技術 DX NEW	2	13,000		
3H011～2	実践建築設計2次元CAD技術〈操作方法編〉	2	7,500	8,9	
3H701	実践建築設計2次元CAD技術〈給排水編〉	2	7,500		
3H711	実践建築設計2次元CAD技術〈電気編〉	2	7,500		
3H121	木造住宅における壁量計算技術	2	10,500		
3H501	トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術	2	11,000		
3H511	冷媒配管の加工・接合技術	2	11,000		
3H601～2	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	2	11,000		13,14
3H611	冷凍空調設備の故障診断と予防保全	2	9,000		

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	掲載頁
			30	1,2,3						6
				7,8,9						6
							22,23			7
					11,12,13,14					7
						16,17,18,19				8
								19,20		8
4,5,6										9
18,19,20										9
	10,11									10
	24,25									10
					13,14					11
		5,6						5,6		11
				16,17						12

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	掲載頁
17,18,19							21,22,23			14
			1,2					16,17		14
			4,5							15
				20,21		11,12				15,16
				23,24						16
	8,9,10									17
						16,17,18				17
	15,16									18
						2,3,4				18

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	掲載頁
		28,29								20
							20,21			20
		26,27								21
	8,9									21
	2,3									22
	10,11									22
						3,4				23
					11,12					23
			24,25							24
				1,2						24

* コースフローについて

コースフローの矢印は、受講推奨順を表しています。

右の例の場合、**コースB**を受講する前提として、

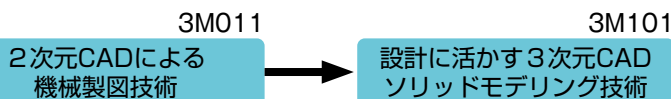
コースAを受講した方と同様の技術や知識が必要です。

コースAに含まれる内容については、**できる**もしくは**知っている**ものとして訓練を行います。

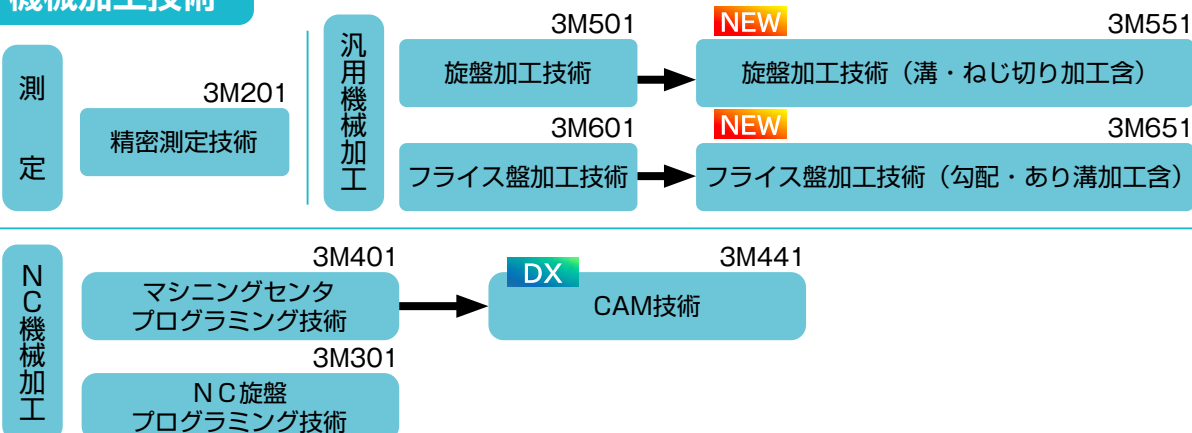
コース A

コース B

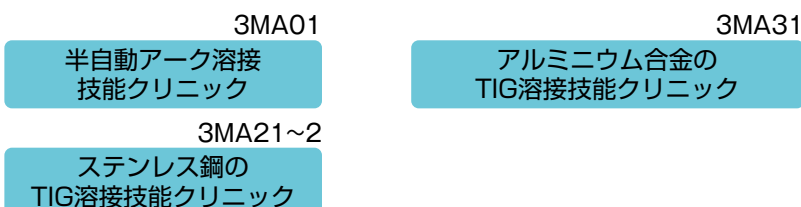
製品設計技術



機械加工技術



溶接加工技術



利用者の声（機械系）

- 2次元CADによる機械製図技術
 - ・2DCADは自分で見て学べの雰囲気強い会社だったが、本セミナーを通して専門の方からちゃんとした使い方を学ぶことができた。
- NC旋盤プログラミング技術
 - ・これまで前任者からの指導のみだったが、新たな知識や加工の不具合時の対策を知ることができた。
- フライス盤加工技術
 - ・今までなんとなくやっていた作業の手順について、今回の講習のおかげでその理屈を知ることができた。
- ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック
 - ・会社では一切ローリングは使わないため、無知だったのですごく役に立った。
 - ・TIG溶接の基礎を分からないまま作業していたので今回勉強になった。

概要

機械設計／製図の生産性向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた構想段階から具体的な加工指示を出すための図面作成を通し、CADを使用する場合の環境構築、効果的かつ効率的な使用方法およびデータ管理方法を習得する。

コース内容

1. 機械製図の留意事項
 - (1) 立体形状の把握
 - (2) 投影法
 - (3) 寸法記入とサイズ公差
 - (4) 表面性状と幾何公差
2. 製図効率を向上させるための準備
 - (1) データ管理機能
 - (2) 作図機能と編集機能
 - (3) 寸法記入と公差
 - (4) 線種と出力
3. 実践課題
 - (1) 製品機能を重視した寸法記入
 - (2) 適切なサイズ公差
 - (3) 幾何公差の選択と決定
4. 図面作成
 - (1) 計画図から部品図へ
 - (2) 部品図から組立図へ

前提知識等

製品設計・開発・生産技術業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者またはその候補者

使用機器等

2次元CAD（AutoCAD）

持参物

筆記用具

●時間

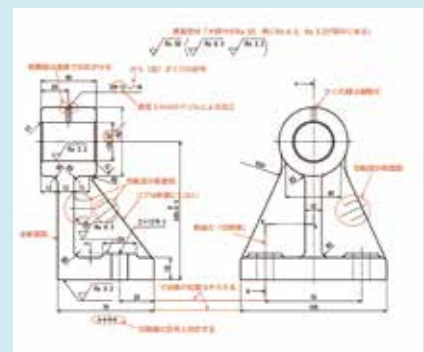
9：00～16：00（計24時間）
（休憩含む）

コース番号

3M011

日程

9/30(火), 10/1(水), 2(木), 3(金)

**概要**

製品設計業務における生産性向上をめざし、効率化最適化に向けた「製品（部品）機能＝フィーチャー」と捉えた開発設計への3次元CAD活用方法、図面の活用および設計検討などの検証方法を習得する。

コース内容

1. 3次元CADの概要
 - (1) 製品設計とは
 - (2) 検証ツールとしての3次元CAD
2. モデリング手法
 - (1) 重要な部分からの作成
 - (2) 基準の明確化
 - (3) 1つの機能を1つのフィーチャーに割り当てる
 - (4) 設計変更に強いモデリング
3. 設計検証
 - (1) アセンブリによる組立性の検証
 - (2) 図面展開による検証
 - (3) 構造解析による検証

前提知識等

製品設計・開発・生産技術業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者またはその候補者

使用機器等

3次元CAD（SOLIDWORKS）

持参物

筆記用具

●時間

9：00～16：00（計18時間）
（休憩含む）

コース番号

3M101

日程

10/7(火), 8(水), 9(木)



測定・検査 精密測定技術

定員	受講料	日数
10名	10,000円	2日間

概要

測定作業の生産性向上をめざし、適正化に向けた測定実習を通して精密で信頼性の高い測定を行うための理論を学び、測定器の定期検査方法を含めた正しい取り扱いと、測定方法、データ活用、誤差要因とその対処に必要な技能・技術を習得する。

コース内容

1. 測定の重要性
 - (1) 測定と計測について
 - (2) トレーサビリティ
 - (3) 測定データでの不確かさ
 - (4) 検査と評価
2. 測定実習
 - (1) 測定誤差の原因と対策（測定環境・誤差要因・対策方法）
 - (2) 測定器の精度と特性（長さ基準、測定器の信頼性）
 - (3) マイクロメータ、ノギス、ダイヤルゲージ等での測定
 - (4) 測定器の構造・取扱い・調整
 - (5) 器差、アッペの原理
 - (6) 熱的影響による誤差

前提知識等

機械加工・測定・検査業務に従事する（予定含む）技能・技術者
 ・測定器の使い方をマスターしたい方
 ・測定器の定期検査の概要を知りたい方

使用機器等

各種測定器、検査機器一式、作業工具一式

持参物

筆記用具

●時間

9:00～16:00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号	日程
3M201	1/22(木), 23(金)



機械加工 NC旋盤プログラミング技術

定員	受講料	日数
10名	17,000円	4日間

概要

NC機械加工の生産性向上をめざし、工程の最適化（改善）に向けたプログラミング課題実習とプログラムの検証を通じて、要求される条件を満足するためのプログラミング技術を習得する。

コース内容

1. 各種機能とプログラム作成方法
 - (1) 主軸・送り・工具・準備・補助機能
 - (2) 荒加工用・仕上げ加工用プログラム作成方法および注意点
 - (3) ノーズR補正と固定サイクル
2. プログラミング課題実習
 - (1) 課題の提示および注意点
 - (2) 加工工程の検討と疑問点、問題点の抽出
 - (3) プログラミング
3. プログラムの検証と評価
 - (1) プログラムの確認と検討
 - (2) 改善策とその検証

前提知識等

機械加工作業に従事する技能・技術者
 ・NC旋盤のプログラミング技術を身につけたい方
 ・NC旋盤作業に従事している方、または従事予定の方

使用機器等

NC旋盤（TAKISAWA）、切削工具・測定器・作業工具一式

持参物

帽子、作業服、安全靴、筆記用具

●時間

9:00～16:00（計24時間）
（休憩含む）

コース番号	日程
3M301	11/11(火), 12(水), 13(木), 14(金)



概要

NC機械加工の生産性向上をめざし、工程の最適化（改善）に向けたプログラミング課題実習と検証を通じて、要求事項を満たすためのプログラム作成技術、マシニングセンタ作業に関する技術を習得する。

コース内容

- 各種機能とプログラム作成方法
 - 主軸・送り・工具・準備・補助機能
 - 機械座標系とワーク座標系
 - 工具長・工具径オフセット
 - サブプログラム
 - 固定サイクルとプログラムパターン
- プログラミング課題実習
 - 課題の提示および注意点
 - 加工工程の検討と疑問点、問題点の抽出
 - プログラミング
- プログラムの検証と評価
 - プログラムの確認と検討
 - 改善策とその検証

前提知識等

機械加工作業に従事する技能・技術者
 ・マシニングセンタのプログラミング技術を身につけたい方
 ・マシニングセンタ作業に従事している、または従事予定の方

使用機器等

マシニングセンタ（DMG MORI）
 切削工具・測定器・作業工具一式

持参物

帽子、作業服、安全靴、筆記用具

●時間

9：00～16：00（計24時間）
 （休憩含む）

コース番号

日程

3M401

12/16(火), 17(水), 18(木), 19(金)



概要

NC工作機械を用いた機械加工における生産性向上をめざし、最適化（改善）に向けたCAMによる加工データ作成と加工実習を通し、高精度・高能率加工に対応できる加工データを作成する技術を習得する。

コース内容

- CAMの概要
 - CAMの種類と用途
 - CADとCAM
- 課題提示と加工データ作成
 - 課題の提示と加工データ作成のポイント
 - 加工工程・切削工具・切削条件の決定
 - CADデータの受け取り
 - NCデータ作成
 - シミュレーション
- 切削加工実習
 - 段取り作業
 - 課題の加工実習
 - 製品評価・改善策の検討

前提知識等

CAD/CAMやマシニングセンタ加工に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者またはその候補者

使用機器等

CAD/CAMシステム（Mastercam）
 マシニングセンタ（DMG MORI）

持参物

帽子、作業服、安全靴、筆記用具

●時間

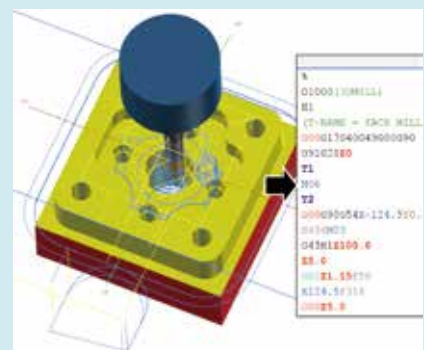
9：00～17：00（計14時間）
 （休憩含む）

コース番号

日程

3M441

2/19(木), 20(金)



機械加工 旋盤加工技術

定員	受講料	日数
10名	16,500円	3日間

概 要

汎用機械加工の生産性向上をめざし、効率化、最適化（改善）、安全性向上に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、旋盤作業に関する技能・技術を習得する。

コース内容

1. 旋盤加工
 - (1) 機械操作・取扱い（加工方法、機械の各部名称と機能）
 - (2) 切削条件の設定（切削条件の3要素、仕上げ面粗さ）
 - (3) 心出し作業（三つ爪チャック）
 - (4) 工具の取り付け
2. 総合課題実習
 - (1) 課題の提示（外径・内径加工）
 - (2) 課題加工実習
 - (3) 測定・評価と改善

前提知識等

機械加工作業に従事する技能・技術者
・旋盤作業に関する技能を身につけたい方

使用機器等

普通旋盤、切削工具・測定器・作業工具一式

持参物

作業服、帽子、安全靴、筆記用具、保護メガネ

●時間

9：00～16：00（計18時間）
（休憩含む）

コース番号	日 程
3M501	6/4(水), 5(木), 6(金)



機械加工 フライス盤加工技術

定員	受講料	日数
10名	16,500円	3日間

概 要

汎用機械加工の生産性向上をめざし、効率化、最適化（改善）、安全性向上に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、フライス盤作業に関する技能・技術を習得する。

コース内容

1. フライス盤加工
 - (1) 機械操作・取扱い（加工方法、機械の各部名称と機能）
 - (2) 切削条件の設定（切削条件の3要素、仕上げ面粗さ）
 - (3) バイスの取付けと平行出し
 - (4) 工具の取り付け
2. 総合課題実習
 - (1) 課題の提示（六面体・エンドミル加工）
 - (2) 課題加工実習
 - (3) 測定・評価と改善

前提知識等

機械加工作業に従事する技能・技術者
・フライス盤作業に関する技能を身につけたい方

使用機器等

フライス盤、切削工具・測定器・作業工具一式

持参物

作業服、帽子、安全靴、筆記用具、保護メガネ

●時間

9：00～16：00（計18時間）
（休憩含む）

コース番号	日 程
3M601	6/18(水), 19(木), 20(金)



機械加工

旋盤加工技術（溝・ねじ切り加工含）

NEW

定員
10名受講料
11,500円日数
2日間

概 要

汎用機械加工の現場力強化および技能継承をめざし、技能高度化に向けた加工実習を通し、加工方法の検討や段取り等、実践的な旋盤作業に関する技術・技能を習得する。

コース内容

1. 旋盤加工
 - (1) 機械操作・取扱い（加工方法、機械の各部名称と機能）
 - (2) 切削条件の設定（切削条件の3要素、仕上げ面粗さ）
 - (3) 心出し作業（四つ爪チャック）
 - (4) 工具の取り付け
2. 総合課題実習
 - (1) 課題の提示（外径・溝・ねじ切り（切上ねじ切り）加工）
 - (2) 課題加工実習
 - (3) 測定・評価と改善

前提知識等

機械加工作業に従事する技能・技術者

- ・ 旋盤加工に関する基礎的な加工技能を有している方
- ・ より高度な技術技能を身につけたい方

使用機器等

普通旋盤、切削工具・測定器・作業工具一式

持参物

作業服、帽子、安全靴、筆記用具、保護メガネ

●時間

9:00～16:00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

3M551

日 程

7/10(木), 11(金)



機械加工

フライス盤加工技術（勾配・あり溝加工含）

NEW

定員
10名受講料
14,000円日数
2日間

概 要

汎用機械加工の現場力強化および技能継承をめざし、技能高度化に向けた加工実習を通し、加工方法の検討や段取り等、実践的なフライス盤作業に関する技術・技能を習得する。

コース内容

1. フライス盤加工
 - (1) 機械操作・取扱い（加工方法、機械の各部名称と機能）
 - (2) 切削条件の設定（切削条件の3要素、仕上げ面粗さ）
 - (3) バイスの取付けと平行出し
 - (4) 工具の取り付け
2. 総合課題実習
 - (1) 課題の提示（六面体・エンドミル・勾配・あり溝加工）
 - (2) 課題加工実習
 - (3) 測定・評価と改善

前提知識等

機械加工作業に従事する技能・技術者

- ・ フライス盤加工に関する基礎的な加工技能を有している方
- ・ より高度な技術技能を身につけたい方

使用機器等

フライス盤、切削工具・測定器・作業工具一式

持参物

作業服、帽子、安全靴、筆記用具、保護メガネ

●時間

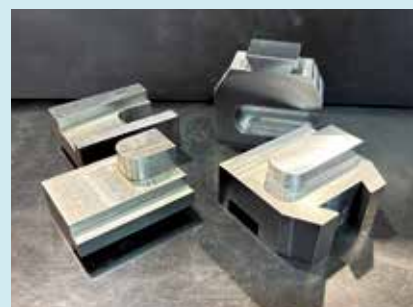
9:00～16:00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

3M651

日 程

7/24(木), 25(金)



半自動アーク溶接技能クリニック

定員	受講料	日数
10名	16,000円	2日間

概要

溶接加工の現場力強化をめざし、現在の習熟度を確認し、技能高度化に向けた半自動アーク溶接作業の各種姿勢の溶接実習等を通し、技能高度化に向けた適切な半自動アーク溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握および解決手法を習得する。

コース内容

1. 概要
 - (1) 炭酸ガスアーク溶接の概要
 - (2) 炭素鋼の種類および素性
2. 溶接実習
 - (1) 角継手溶接
 - (2) 水平すみ肉溶接
 - (3) 突合せ溶接
 - (4) フラックス入りワイヤでの施工
 - (5) 欠陥の原因と対策

前提知識等

半自動溶接作業に従事する（または従事予定）技能・技術者
・半自動溶接技術を身につけたい方

使用機器等

半自動溶接機（ダイヘン、パナソニック）

持参物

作業服（長袖）、作業帽、安全靴、溶接用保護具（保護面等）

●時間

9：00～16：00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号	日程
3MA01	11/13(木), 14(金)



ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック

定員	受講料	日数
10名	15,000円	2日間

概要

溶接加工の現場力強化をめざし、現在の習熟度を確認し、技能高度化に向けたステンレス鋼のTIG溶接作業の各種継手の溶接実習を通して、適正な溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握および解決手法を習得する。

コース内容

1. 概要
 - (1) TIG溶接の概要
 - (2) ステンレス鋼の種類および素性
2. 溶接実習
 - (1) 角継手溶接
 - (2) 水平すみ肉溶接
 - (3) 突合せ溶接
 - (4) 欠陥の原因と対策

前提知識等

TIG溶接作業に従事する（または従事予定）技能・技術者
・TIG溶接技術を身につけたい方
・ステンレス鋼に対してTIG溶接を適用している企業

使用機器等

TIG溶接機（ダイヘン、パナソニック）

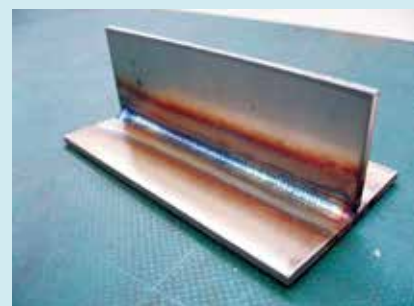
持参物

作業服（長袖）、作業帽、安全靴、溶接用保護具（保護面等）

●時間

9：00～16：00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号	日程
3MA21	8/5(火), 6(水)
3MA22	2/5(木), 6(金)



概要

溶接加工の現場力強化をめざして、現在の習熟度を確認し、技能高度化に向けたアルミニウムおよびその合金のTIG溶接作業の各種継手の溶接実習を通じて、技能高度化に向けた適正な溶接施工に関する技能と実際に起こりうる品質上の問題点の把握および解決手法を習得する。

コース内容

1. 概要

- (1) 交流TIG溶接の概要
- (2) アルミニウム合金の種類および素性

2. 溶接実習

- (1) 角継手溶接
- (2) 水平すみ肉溶接
- (3) 突合せ溶接
- (4) 欠陥の原因と対策

前提知識等

- ・ TIG溶接の経験がある方
- ・ アルミニウム合金に対するTIG溶接を習得したい方

使用機器等

TIG溶接機（ダイヘン、パナソニック）

持参物

作業服（長袖）、作業帽、安全靴、溶接用保護具（保護面等）

●時間

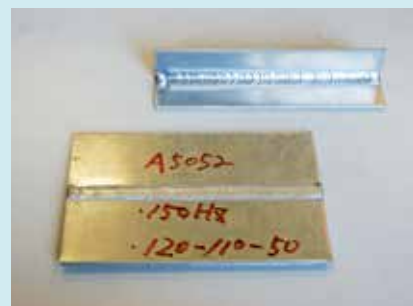
9：00～16：00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

3MA31

日程

10/16(休), 17(金)



オーダーメイド型コースのご案内

お問い合わせ

「公開中のセミナーでは日程が合わない」
「自社の実情や目的に合った研修を実施したい」
「研修したいけど場所や機器がない」
などの声にお応えします。

ご相談 (内容・日程・受講者数など)

「同等のコースを実施してほしい」
とご要望がありましたら、お気軽にポリテクセンター岩手にお問い合わせください。

実施内容の提案 受講料見積額の提示

**本冊子でご案内しているコース以外でも
お気軽にご相談ください。**

実施内容・受講料の ご確認とご承諾

受講料の請求とご入金

- ・ 1セミナー12時間以上（1日6時間として2日以上）です。
- ・ 会場は原則当センターですが、実施内容により出張にも対応いたします。

セミナーご受講

（詳しくは25ページ）

* コースフローについて

コースフローの矢印は、受講推奨順を表しています。

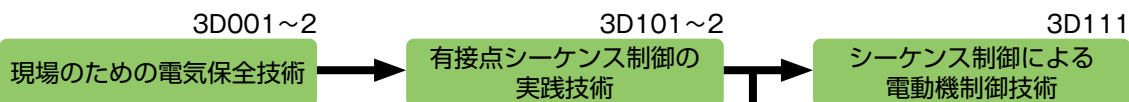
右の例の場合、**コースB**を受講する前提として、

コースAを受講した方と同様の技術や知識が必要です。

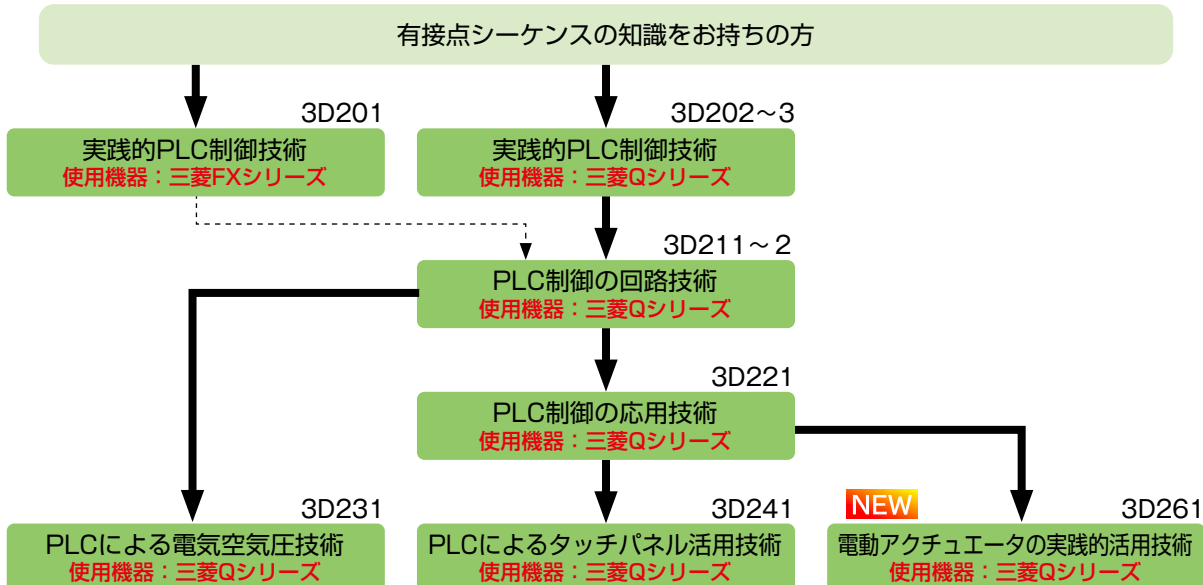
コースAに含まれる内容については、**できる**もしくは**知っている**ものとして訓練を行います。



有接点シーケンス制御技術



PLC制御技術



利用者の声（電気系）

- **現場のための電気保全技術**
 - ・教材を使って自分の力でトラブルの原因を調査したことで、仕事での課題の解決につながられた。
- **有接点シーケンス制御の実践技術**
 - ・シーケンス図を考えて配線を行うという作業を中心に行ったことで、有接点シーケンス制御の実践的な技術を身に付けることができた。
- **実践的PLC制御技術**
 - ・会社内で教育を受けていても「どうしてそうなのか」などを掘り下げて説明されることが少ないのが、その背景やいきさつなどを知れて内容を理解することができた。
- **PLC制御の回路技術**
 - ・新しい回路の使用方法を身に付けられました（基本回路、応用回路）。

概要

電気設備保全／電気機器設備保全の現場力強化および技能継承をめざし、技能高度化、故障対応・予防に向けた現場に即した総合実習を通して、故障箇所の特定・対処方法および、劣化防止、測定試験、安全対策などの電気保全技術を習得する。

コース内容

1. 電気災害概要と対応策
 - (1) 感電の人体反応と対応策
 - (2) 短絡、漏電の対応策
2. 欠陥の種類
 - (1) 混触、過熱、電圧降下
 - (2) 絶縁劣化、誘導現象、その他
3. 生産設備のトラブルとその対策
 - (1) リレーや回路の故障原因と対策
 - (2) 回路を構成する機器の故障発見技術
4. 電気保全実習
 - (1) 機器選定実習、現場における測定検査実習
 - (2) 不良箇所の発見実習と対応策検討

前提知識等

機械・電気の保全および制御技術者の方

★本コースは、これから電気の制御技術および応用的な知識を学ばれる方向けの、最もベーシックなコースです。

使用機器等

当センター実習装置、各種負荷装置、各種現場用測定器、保全実習課題

持参物

作業服または作業に適した服装、筆記用具

●時間

9:00～16:00 (計18時間)
(休憩含む)

コース番号	日程
3D001	6/17(火), 18(水), 19(木)
3D002	1/21(水), 22(木), 23(金)



概要

シーケンス制御設計の現場力強化および技能継承をめざし、技能高度化、故障対応・予防に向けた有接点シーケンス製作実習を通して、有接点シーケンス制御製作の実務能力を習得する。

コース内容

1. 各種制御機器の種類と選定
 - (1) スイッチ、センサ等
 - (2) 電磁接触器、電磁継電器、熱動継電器
 - (3) その他制御機器 (表示灯、ブレーカ、ヒューズなど)
 - (4) 制御線・動力線の選定
2. 主回路と制御回路
 - (1) 機器の配置と接続方法
 - (2) 各種制御回路
3. 有接点シーケンス製作実習
 - (1) 実習課題についての仕様説明
 - (2) 配線作業、点検および試運転
 - (3) トラブル発生時のメカニズムと改善

前提知識等

3D001,2「現場のための電気保全技術」を受講した方、または同等の知識を有する方

★有接点シーケンス制御の経験が全く無い方は、3D001,2「現場のための電気保全技術」から受講されることをお勧めします。

使用機器等

当センター実習装置(24V技能検定盤)、各種負荷装置、各種現場用測定器

持参物

作業服または作業に適した服装、筆記用具

●時間

9:00～16:00 (計12時間)
(休憩含む)

コース番号	日程
3D101	9/1(月), 2(火)
3D102	2/16(月), 17(火)



概 要

シーケンス制御設計の生産性向上をめざし、効率化、適正化、安全性向上に向けた電動機制御実習を通して、電動機制御の実務能力を習得する。

コース内容

1. 三相電動機の概要
 - (1) 三相誘導モーターの原理・構造・始動法 (Y-Δ始動等)
 - (2) 定格 (電圧、電流、回転数、トルクなど)
 - (3) 制御機器および計器
2. 連続運転、正逆運転回転
 - (1) モーターの駆動に適した機器の選定
 - (2) 配線作業、点検および試運転
3. 電動機制御実習
 - (1) 現場に即した実習課題の仕様
 - (2) 制御回路組立ての留意事項
 - (3) 安全性、効率性を考慮した回路設計実習
 - (4) 機器の選定および配線 (制御回路組立て) 実習、点検および試運転

前提知識等

3D101,2「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、または同等の知識を有する方

★有接点シーケンス制御の経験が全く無い方は、3D001,2「現場のための電気保全技術」から受講されることをお勧めします。

使用機器等

当センター実習装置(200V実習盤)、各種負荷装置、各種現場用測定器

持参物

作業服または作業に適した服装、筆記用具

●時間

9:00~16:00 (計12時間)
(休憩含む)

コース番号

3D111

日 程

9/4(木), 5(金)



概 要

生産システム保全の現場力強化および技能継承をめざし、技能高度化、故障対応・予防に向けた生産システム保全に関する総合実習を通して、PLCを用いた生産設備保全の実務能力を習得する。

コース内容

1. PLCシステムの保全
 - (1) シーケンス制御、PLC制御の概要
 - (2) 保全方式 (予防保全、事後保全、改良保全)
 - (3) PLCの構成
2. システム構成
 - (1) 制御機器の選定と回路設計
 - (2) 駆動機器の特性と選定
3. FAシステム制御回路保全実習
 - (1) 実習課題の仕様
 - (2) 入出力機器選定および電源・入出力配線
 - (3) FAモデルの制御回路設計実習
 - (4) 試運転・デバッグ

前提知識等

3D101,2「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、または同等の知識を有する方

使用機器等

三菱電機製PLC(FXシリーズ)、サポートソフト(GX Works3)
各種負荷装置

持参物

作業服または作業に適した服装、筆記用具

●時間

9:00~16:00 (計12時間)
(休憩含む)

コース番号

3D201

日 程

12/11(木), 12(金)



概 要

生産システム保全の現場力強化および技能継承をめざし、技能高度化、故障対応・予防に向けた生産システム保全に関する総合実習を通して、PLCを用いた生産設備保全の実務能力を習得する。

コース内容

1. PLCシステムの保全
 - (1) シーケンス制御、PLC制御の概要
 - (2) 保全方式（予防保全、事後保全、改良保全）
 - (3) PLCの構成
2. システム構成
 - (1) 制御機器の選定と回路設計
 - (2) 駆動機器の特性と選定
3. FAシステム制御回路保全実習
 - (1) 実習課題の仕様
 - (2) 入出力機器選定および電源・入出力配線
 - (3) FAモデルの制御回路設計実習
 - (4) 試運転・デバッグ

前提知識等

3D101,2「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講された方、または同等の知識を有する方

★タイマ、カウンタなどについては、3D211,2「PLC制御の回路技術」のコースを受講して下さい。

使用機器等

三菱電機製PLC(Qシリーズ)、サポートソフト(GX Works2)
各種負荷装置

持参物

作業服または作業に適した服装、筆記用具

●時間

9:00～16:00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

日 程

3D202	5/19(月), 20(火)
3D203	10/20(月), 21(火)



概 要

シーケンス（PLC）制御設計の生産性向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けたPLCに関する知識、回路の作成・変更法と実践的な生産設備設計実習を通して、自動化システムの設計技術を習得する。

コース内容

1. PLCの運用
 - (1) PLCのハードウェア
 - (2) ユニットの選定
 - (3) 外部配線の設計
 - (4) ラダー図およびシーモニックによる回路作成
 - (5) モニタリング、タイムチャートモニタ、デバック運転
2. PLCの回路設計
 - (1) 標準化回路の設計
 - (2) データメモリの活用による生産管理
3. PLCの設計実習
 - (1) 入出力機器選定および電源・入出力配線
 - (2) FAモデルの制御回路設計実習

前提知識等

3D201～3「実践的PLC制御技術」を受講された方、または同等の知識を有する方、サポートソフト(GX Works2)の操作知識を有する方

使用機器等

三菱電機製PLC(Qシリーズ)、サポートソフト(GX Works2)
各種負荷装置

持参物

作業服または作業に適した服装、筆記用具

●時間

9:00～16:00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

日 程

3D211	5/22(木), 23(金)
3D212	10/23(木), 24(金)



概 要

シーケンス (PLC) 制御設計の生産性向上をめざし、効率化、適正化、最適化 (改善)、安全性向上に向けた数値処理実習を通して、PLCによる機器制御の応用技術を習得する。

コース内容

1. 数値処理命令
 - (1) 基本命令
 - (2) 応用命令
 - (3) 特殊命令
2. 高機能ユニットの機能
 - (1) 概要、仕様
 - (2) 各種設定
 - (3) プログラムおよび機器制御実習
3. 数値処理実習
 - (1) 生産現場に密着した総合課題の提示
 - (2) 入出力機器との配線・接続
 - (3) 制御プログラム
 - (4) 動作確認とデバッグ

前提知識等

3D211,2「PLC制御の回路技術」を受講された方、または同等の知識を有する方、サポートソフト (GX Works2) の操作知識を有する方

使用機器等

三菱電機製PLC (Qシリーズ)、サポートソフト (GX Works2)、各種負荷装置

持参物

作業服または作業に適した服装、筆記用具

●時間

9:00~16:00 (計18時間)
(休憩含む)

コース番号

3D221

日 程

7/8(火), 9(水), 10(木)

**概 要**

油空圧制御システム設計の生産性向上をめざし、効率化、適正化、最適化 (改善)、安全性向上に向けたPLCを用いた制御システム構築実習を通して、電気空気圧機器の機能、構造、制御方法と電気および空気圧制御システムの構築、運用方法を習得する。

コース内容

1. 空気圧技術およびシステム概要
 - (1) 空気圧技術の特性
 - (2) 空気圧機器の機器構成とシンボル
 - (3) 各種方向切換弁の特徴
 - (4) 各種センサの特徴
 - (5) 真空発生装置
2. 空気圧制御設計実習
 - (1) リードスイッチ付きシリンダ制御
 - (2) 2本のシリンダ制御
 - (3) シングルソレノイド使用時のプログラミング技法
 - (4) ダブルソレノイド使用時のプログラミング技法
 - (5) 各種三位置切換弁使用時のプログラミング技法
3. 空気圧制御実習
 - (1) 仕様の検討
 - (2) ロッドレスシリンダ回路の設計
 - (3) 上下駆動シリンダ回路の設計
 - (4) 真空制御回路の設計
 - (5) 運送動作の最適化と評価

前提知識等

油空圧制御システム設計の基礎知識を有する方、3D211,2「PLC制御の回路技術」を受講された方、または同等の知識を有する方、サポートソフト (GX Works2) の操作知識を有する方

使用機器等

三菱電機製PLC (Qシリーズ)、サポートソフト (GX Works2)、各種負荷装置

持参物

作業服または作業に適した服装、筆記用具

●時間

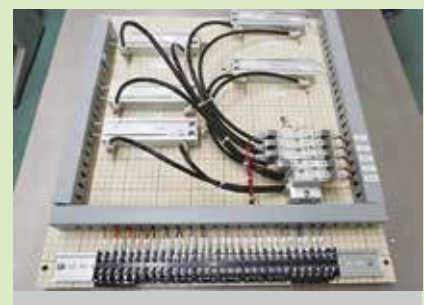
9:00~16:00 (計18時間)
(休憩含む)

コース番号

3D231

日 程

12/16(火), 17(水), 18(木)



概 要

シーケンス（PLC）制御設計の生産性向上をめざし、効率化、最適化（改善）に向けたタッチパネル活用によるFAライン管理実習を通して、タッチパネルを活用してFAライン管理技術を習得する。

コース内容

1. タッチパネルの概要
 - (1) タッチパネルの概要と特徴、用途
 - (2) 各種接続形態と通信形態
2. タッチパネルの画面設計
 - (1) システム構成と表示画面構成
 - (2) PLCと表示画面のデバイス設定
 - (3) 表示画面とPLCプログラムの作成
 - (4) アラーム表示
 - (5) タッチパネルによる負荷機器の制御
3. タッチパネルを活用したFAライン管理実習
 - (1) プログラムの標準化、運用管理及び自動運転制御について
 - (2) FAライン制御設計実習
 - (3) 生産管理系上位PLCとリアルタイムの進捗管理方法、実績管理方法
 - (4) PLC間ネットワークでの活用

前提知識等

3D221「PLC制御の応用技術」を受講された方、または同等の知識を有する方、サポートソフト(GX Works2)の操作知識を有する方

使用機器等

三菱電機製PLC(Qシリーズ)、タッチパネル(GOT2000)、サポートソフト(GX Works2、GT Designer3)、各種負荷装置

持参物

作業服または作業に適した服装、筆記用具

●時間

9：00～16：00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

3D241

日 程

7/15(火)、16(水)

**概 要**

メカトロニクス設計（ロボット含む）の生産性向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた活用方法を踏まえた制御実習を通して、制御特性を活かした制御技術や改善技術を取得する。

コース内容

1. 電動システム（電動シリンダー）の概要
 - (1) シーケンス制御、PLC制御の概要
 - (2) 電動アクチュエータの市場
 - (3) 活用事例
2. システム構成
 - (1) 制御システムの違い（エアシリンダーとの比較）
 - (2) 電動アクチュエータの構造と機器の選定
3. 電動アクチュエータの制御実習
 - (1) 実習機器の仕様
 - (2) 機器の配線と設定
 - (3) 制御プログラム設計実習（直値制御／CC-Link経由）、多軸化への対応技術
 - (4) 試運転・デバッグ

前提知識等

3D221「PLC制御の応用技術」を受講された方、または同等の知識を有する方

使用機器等

三菱電機製PLC(Qシリーズ)、サポートソフト(GX Works2)、アイ・イー・アイ製電動シリンダー

持参物

作業服または作業に適した服装、筆記用具

●時間

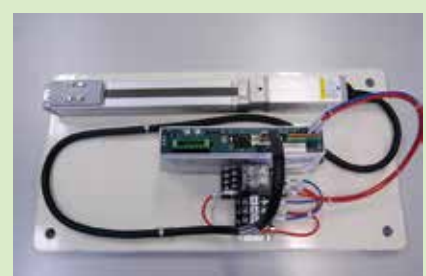
9：00～16：00（計18時間）
（休憩含む）

コース番号

3D261

日 程

12/2(火)、3(水)、4(木)



* コースフローについて

コースフローの矢印は、受講推奨順を表しています。

右の例の場合、**コースB**を受講する前提として、

コースAを受講した方と同様の技術や知識が必要です。

コースAに含まれる内容については、**できる**もしくは**知っている**ものとして訓練を行います。

コース A

コース B

2DCAD(Jw_cad)

3H011~2

実践建築設計
2次元CAD技術〈操作方法編〉

3H701

実践建築設計
2次元CAD技術〈給排水編〉

3H711

実践建築設計
2次元CAD技術〈電気編〉

3DCAD(マイホームデザイナーとVR)

DX NEW

3H041

VRソリューションを活用した
実践建築設計3次元CAD技術

Autodesk Revit

DX NEW

3H051

BIMを用いた建築設計技術

在来住宅の構造

3H121

木造住宅における
壁量計算技術

給排水衛生

3H501

トラブル事例から学ぶ
各種管の加工・接合技術

エアコン

3H601~2

冷媒配管の施工と
空調機器据付け技術

3H611

冷凍空調設備の故障診断と
予防保全

冷凍空調

3H511

冷媒配管の加工・接合技術

利用者の声（居住系）

● 実践建築設計 2次元CAD技術

- ・ 様々なコマンドの使い方が知ることができた。
- ・ テキストだけでは難しい操作方法が言葉により理解できた。
- ・ より深くCADについての知識が増えました。業務に活かしていけそうです。

● 木造住宅における壁量計算技術

- ・ 今まで体験してきた講習よりも資料が見やすく、今までどうしてこの数値だったのだろうかなどの疑問も今回を通して知ることができた。
- ・ 普段の計算はソフトに頼りすぎていたが、自分で計算したことにより読み解けるようになった。

● 冷媒配管の施工と空調機器据付け技術

- ・ 今までやってきた事で根拠を理解していなかった事を今回で勉強し自信が持てるようになった。

● トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術

- ・ 普段主に行っている設計審査業務において、図面から何となく現場の絵が見えてくるのではないと思う。

概 要

建築設計の新たな品質の創造をめざし、高付加価値化に向けた設計段階におけるエスキス実習・モデリングの作成を通して3次元CAD、VRソリューションを用いた意匠設計に関する技術を習得する。

コース内容

1. 設計条件の設定
 - (1) 与条件の確認
 - (2) 制約条件の確認
2. 各部材等の入力
 - (1) 敷地の入力
 - (2) 柱・壁・梁・床・天井、テクスチャーの決定、入力
3. 提案書の作成
 - (1) 配置図・各階平面図・断面図・立面図作成
 - (2) 3次元モデリングの作成
 - (3) パースの作成
4. VRソリューションの活用
 - (1) VRソリューションを活用したモデル作成、編集

前提知識等

3H011,2「実践建築設計2次元CAD技術〈操作方法編〉」を受講された方、もしくは同等の知識を有する方

使用機器等

パソコン（マイホームデザイナー）、VRソリューション

持参物

筆記用具、電卓

●時間

9:00～16:00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

3H041

日 程

8/28(木), 29(金)



概 要

建築の設計・施工から維持管理に至る一連の作業の効率化を目指して、BIM（ビルディング インフォメーション モデリング）を活用した建築設計技法を習得する。

コース内容

1. BIMの活用方法
 - (1) BIMの現状
 - (2) BIMの仕組み
 - (3) 運用における注意点
2. 建築設計実習
 - (1) 地形、敷地、道路などの条件設定
 - (2) 対象建築物の条件設定
 - (3) モデルの作成
 - (4) パースの作成
 - (5) 各種図面のレイアウトと出力
3. 作成データの活用
 - (1) 集計表の作成
 - (2) パースのレンダリング

前提知識等

パソコンの基本操作（ファイルの移動コピーなど）ができる方

使用機器等

パソコン（Autodesk Revit）

持参物

筆記用具

●時間

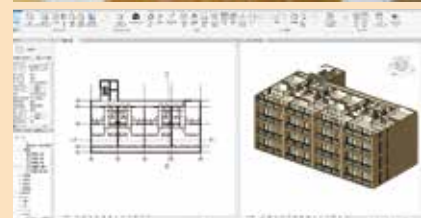
9:00～16:00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

3H051

日 程

1/20(火), 21(水)



概 要

建築図面の生産性向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術（Jw_cad）を習得する。

コース内容

1. 一般図
 - (1) 建築一般図について
2. CAD製図
 - (1) 実践的な建築図面作成の要点 (2) 図面作成の準備
 - イ. 用紙・図面尺度、図面範囲設定、レイヤ設定
 - ロ. 線種と線種設定
 - (3) 図面作成
 - イ. 図面の要素、作図
 - ロ. 記号、寸法等
3. 種々の図面の構築手法
 - (1) 図面間でのデータ活用
 - (2) 異尺度混合図面の構築方法と環境設定

前提知識等

パソコンの基本操作（ファイルの移動コピーなど）ができる方
Jw_cadを習得したい方

使用機器等

パソコン（Jw_cad）

持参物

筆記用具、電卓

●時間

9：00～16：00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号	日 程
3H011	4/8(火), 9(水)
3H012	8/26(火), 27(水)



概 要

建築図面の生産性向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得する。

コース内容

1. コース概要および留意事項
 - (1) コースの概要説明 (2) 受講者が有する専門的能力の確認
2. 配管継手の作図
 - (1) 継手の作図 (2) 図形の登録
3. 給水装置図面の作成
4. 配管図面の作成
 - (1) 排水、給水、給湯配管図作成
5. 印刷
6. 図面の修正

前提知識等

Jw_cadを扱った経験がある方

★Jw_cadの経験が全く無い方は、3H011,2「実践建築設計 2次元CAD技術〈操作方法編〉」から受講されることをお勧めします。

使用機器等

パソコン（Jw_cad）

持参物

筆記用具

●時間

9：00～16：00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号	日 程
3H701	7/8(火), 9(水)



実践建築設計 2次元CAD技術〈電気編〉

定員

10名

受講料

7,500円

日数

2日間

概要

建築図面の生産性向上をめざし、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得する。

コース内容

1. コース概要および留意事項
 - (1) コースの概要説明
 - (2) 受講者が有する専門的能力の確認
2. 屋内配線用図記号の作図
 - (1) 図記号の作図
 - (2) 図形の登録
3. 屋内配線図の作成
4. 印刷
5. 図面の修正

前提知識等

Jw_cadを扱った経験がある方

★Jw_cadの経験が全く無い方は、3H011,2「実践建築設計 2次元CAD技術〈操作方法編〉」から受講されることをお勧めします。

使用機器等

パソコン（Jw_cad）

持参物

筆記用具

●時間

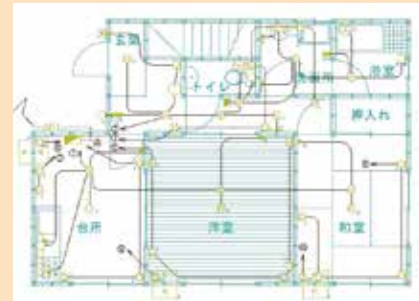
9：00～16：00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

3H711

日 程

7/2(水), 3(木)



木造住宅における壁量計算技術

定員

10名

受講料

10,500円

日数

2日間

概要

木質構造設計の生産性向上をめざし、壁量計算実習を通して効率化、適正化、最適化（改善）に向けた設計の手順と構造計画に関する構造技術を習得する。

コース内容

1. 壁量設計と演習
 - (1) 壁量設計の成立ちと変遷
 - (2) 構造計画と壁量、直下率演習
 - (3) 壁量計算の流れと数値の根拠
 - (4) 壁量計算演習と結果検証
 - (5) 壁配置のチェック（四分割法）
 - (6) 接合部のチェック（N値計算）の流れと根拠
 - (7) N値計算演習と結果検証
2. 構造計画特殊形態への対応
 - (1) 特殊形態についての対応
 - (2) 特殊形態プランの壁量・配置設計演習

前提知識等

在来軸組み工法による建築工事に従事している方で、壁量計算の知識を習得したい方

使用機器等

パソコン、関数電卓

持参物

筆記用具

●時間

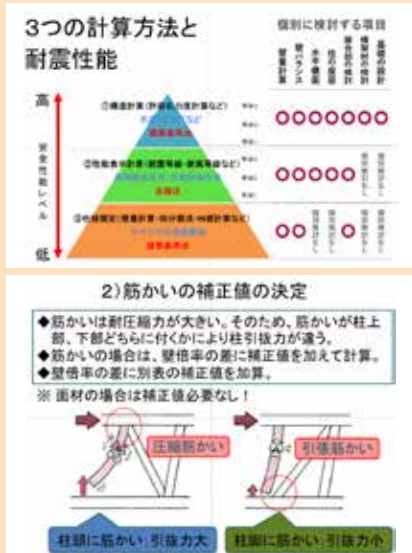
9：00～16：00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

3H121

日 程

7/10(木), 11(金)



建築設備工事

トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術

定員

10名

受講料

11,000円

日数

2日間

概要

建築設備工事の現場力強化をめざし、技能高度化に向けた給排水設備におけるトラブル対策(解決)実習を通して、各種管の加工・接合技術を習得する。

コース内容

1. 問題点の整理
2. 設備配管図の見方・とらえ方
3. 各種管接合法
 - (1) 金属管の加工および接合法
 - (2) 鋼管と銅管の接合法
 - (3) 鋼管と塩ビ管の接合法
 - (4) 銅管と塩ビ管の接合法
4. 課題実習
 - (1) 加工・接合課題演習
 - (2) 水圧テスト
5. トラブル対策実習
 - (1) 漏水修理等

前提知識等

設備管理や工事に従事している方で、鋼管や塩ビ管などの接合技術を習得したい方

使用機器等

電動ねじ切り機、配管工具一式、テストポンプ

持参物

筆記用具、作業服（長袖）、作業帽

●時間

9:00~16:00 (計12時間)
(休憩含む)

コース番号

3H501

日 程

12/3(水), 4(木)



建築設備工事

冷媒配管の加工・接合技術

定員

10名

受講料

11,000円

日数

2日間

概要

空調設備工事の現場力強化および技能継承をめざし、技能高度化に向けた冷媒配管加工・接合実習を通して、冷媒配管工事の欠陥や問題点を未然に予測し防止するための施工技術を習得する。

コース内容

1. 問題点の確認
2. 銅管のフレア加工
3. 銅管の曲げ加工
4. 銅管のろう付け
 - (1) ろう付け接合の概要
 - (2) 下向きろう付け作業
 - (3) 横向きろう付け作業
 - (4) 上向きろう付け作業
 - (5) 窒素ガスブローによるろう付け
5. 課題実習
 - (1) 加工・接合課題演習
 - (2) 気密試験

前提知識等

ガス溶接技能講習の資格をお持ちの方で、冷媒配管の接合技術を習得したい方

使用機器等

アセチレンガス溶接器具一式、配管工具一式、窒素ガスブロー装置

持参物

筆記用具、作業服（長袖）、作業帽、ガス溶接技能講習修了証

●時間

9:00~16:00 (計12時間)
(休憩含む)

コース番号

3H511

日 程

11/11(火), 12(水)



建築設備工事

冷媒配管の施工と空調機器据付け技術

定員

10名

受講料

11,000円

日数

2日間

概要

空気調和設備工事の現場力強化をめざし、技能高度化に向けた空調機器据付け実習を通して欠陥や問題点を未然に予測し防止するための施工技術を習得する。

コース内容

1. 問題点の整理
2. 設備配管工事の施工条件
3. エアコン据付け実習
 - (1) 支持・据付け
 - (2) 冷媒配管の加工および接合
 - (3) ドレン配管の加工接続
4. 漏洩検査
 - (1) 真空乾燥・漏洩検査
 - (2) ドレン配管の通水テスト
5. 試運転
6. エアコン取り外し

前提知識等

冷媒配管の施工に従事している方で、エアコンの据付け作業を習得したい方

使用機器等

エアコン、配管工具一式、ゲージマニホールド、真空ポンプ

持参物

筆記用具、作業服（長袖）、作業帽

●時間

9:00～16:00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

日程

3H601	5/13(火), 14(水)
3H602	9/24(水), 25(木)



建築設備保全

冷凍空調設備の故障診断と予防保全

定員

10名

受講料

9,000円

日数

2日間

概要

空調設備保全の現場力強化および技能継承をめざし、技能高度化、故障対応・予防に向けたp-h線図の理解と冷媒回収実習などを通して、環境・省エネに配慮した冷凍空調設備診断・予防保全技能・技術を習得する。

コース内容

1. コース概要および留意事項
 - (1) 専門能力の現状確認
 - (2) 問題点の整理
2. 空気調和システム
 - (1) エアコンの仕組みと冷凍サイクルについて
 - (2) p-h線図上の冷凍サイクル
 - (3) 湿り空気線図の概要
3. エアコンの故障診断と保全技術
 - (1) 運転データの測定実習
 - (2) 冷媒の回収・充填実習
 - (3) 予防保全
4. まとめ

前提知識等

設備管理や工事に従事している方で、エアコンの冷媒充填作業や故障診断技術を習得したい方

使用機器等

エアコン、ゲージマニホールド、冷媒充填用はかり、測定器、冷媒回収機

持参物

筆記用具、作業服（長袖）、作業帽

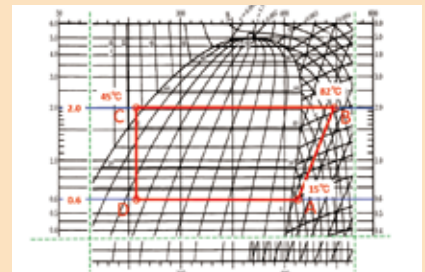
●時間

9:00～16:00（計12時間）
（休憩含む）

コース番号

日程

3H611	10/1(水), 2(木)
-------	---------------



オーダーメイドセミナーのご案内

ポリテクセンター岩手では、公開中の能力開発セミナーのほか、事業主や事業主団体の皆さまのご要望に応じて、訓練内容・日程・時間帯を個別に相談しながら計画、実施するオーダーメイドセミナーを承っています。

自社の生産現場に即した研修を実施したい

教育担当者や機器・場所が不足して研修が行えない

公開中のセミナーでは、日程が合わない

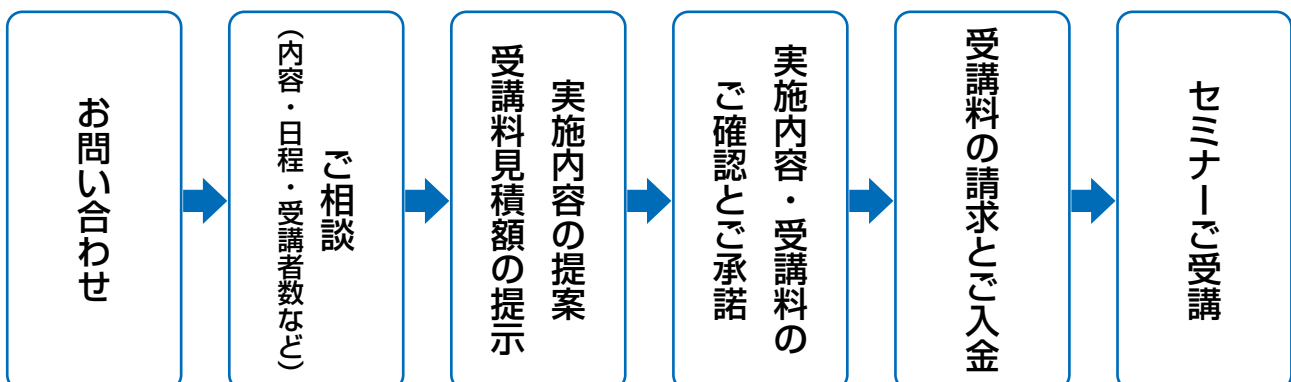
このような課題を抱えている皆さまをサポートします!!

オーダーメイドセミナーのメリット

- ① 生産活動で抱えている課題の解決や職務内容に応じたカリキュラムが編成できます。
- ② 希望する開催日などをご相談のうえ訓練コースを設定できますので、計画的な人材育成が行えます。
- ③ 社員教育に必要な講師、機材、研修会場のご手配が不要です。

オーダーメイドセミナー計画のポイント

- ① 公開中の能力開発セミナーもオーダーメイドセミナーとして計画できます。
※ご案内にないコースについても、ご相談に応じています。
- ② 会場はポリテクセンター岩手となりますが、実施内容により出張セミナーにも対応できます。
- ③ 訓練時間は、1コース12時間以上です。訓練の日程や時間、受講者数は、ご相談ください。
- ④ 費用（受講料）は、教材や諸経費を含めてご提示します。



施設利用サービス

事業主や事業主団体の皆さまが、従業員の方の職業訓練や人材育成を目的とした研修の会場を必要とされる場合に、ポリテクセンター岩手の教室、実習場、設備などをご利用いただけます。

例えば
こんな時に

- ① 事業主や事業主団体の皆さまが行う社員教育、技能・技術研修など
- ② 各種技能検定やその準備講習
- ③ その他、公共施設として適切な目的として認められたイベントなど

● 注意点

- ① 承認された利用目的以外ではご利用いただけません。
- ② 施設の利用に当たっては、火気や作業安全面に十分注意を払ってください。
- ③ 施設設備などを破損、消失した場合は、その損害を賠償していただきます。
- ④ ご利用中の一切の事故については、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ⑤ 勧誘・営業活動などのためにはご利用いただけません。

講師派遣サービス

事業主や事業主団体の皆さまが実施する社員教育や研修などの内容に応じ、訓練指導のノウハウを持った専門の職業訓練指導員を講師として派遣・紹介しています。訓練内容についても、幅広い分野に対応することができ、ポリテクセンター岩手での実施だけでなく、事業所へ出向いての実施も可能です。

● 注意点

- ① 承認された利用目的以外ではご利用いただけません。
- ② 講師派遣の費用については、職業訓練指導員 1 人 1 時間当たり 5,000 円（税込）です。
- ③ 事業所へ出向いて実施する場合は交通費などの実費がかかります。
- ④ 勧誘・営業活動などのためにはご利用いただけません。

お問い合わせ

ポリテクセンター岩手 訓練課

TEL : 0198-23-5712 FAX : 0198-23-5355
E-mail: iwate-poly01@jeed.go.jp

生産性向上支援訓練のご案内

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に資する人材の育成を支援するなど、中小企業等が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。

個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや、地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

主な訓練分野・コース

生産・業務プロセスの改善

工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

横断的課題

既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳以上の就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

売上げ増加

マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の習得を主な目的としています。

IT 業務改善

生産性を向上させるための手段としてITを活用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識・手法の習得を主な目的としています。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・テレワークを導入し業務を効率化したい。

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい。
- ・集客につながるHPを作成したい。

【生産・業務プロセスの改善】

- ・生産現場の問題解決
- ・RPA活用
- ・テレワークを活用した業務効率化 など

【横断的課題】

- ・組織力強化のための管理
- ・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
- ・効果的なOJTを実施するための指導法 など

【売上げ増加】

- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
- ・提案型営業実践
- ・オンライン営業技術 など

【IT業務改善】

- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
- ・集客につなげるホームページ作成
- ・テレワークに対応したセキュリティ対策 など

3つの方式で生産性向上に必要な知識等の習得を支援

訓練の種類	オーダーコース	オープンコース	サブスクリプション型
趣 旨	個別の中小企業等が抱える課題や人材育成ニーズに応じて訓練コースを設定し、当該中小企業等に対して訓練を実施する方式	中小企業等が共通して抱える課題や人材育成ニーズに応じて訓練コースを設定し、幅広い中小企業等から受講者を募集し、実施する方式	専門的な知識又は技能を追加して習得させることを内容とする生産性訓練等で、一定期間あたり定額で受講回数を定めず、eラーニング形式により複数の訓練を実施する方式
受 講 対 象	訓練を利用する事業主等からの受講の指示を受けた在職者		
訓 練 時 間	4時間～30時間		12時間以上
定 員	6名以上	10人を標準	1名以上
受 講 料	訓練時間に応じて、1人あたり2,200～6,600円（税込）		1人あたり920円（税込）
訓練実施場所	利用者の自社会議室など	民間教育訓練機関や当施設の教室など	利用者の自社会議室など

お問い合わせ

ポリテクセンター岩手 生産性センター業務課

TEL:0198-23-5648

E-mail:iwate-seisan@jeed.go.jp

生産性向上人材育成支援センターでは、

中小企業等におけるDX人材の育成

を支援しています！

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の“DX人材の育成”を支援しています。



DX対応コースの概要

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、**共通領域**として設定しました。また、DXに向けた**3つの課題**を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。

共通領域	DX推進に向けたスタートコース
	DXの推進に必要な知識や導入事例を知りたい ⇒【バックオフィス分野】DXの推進
	ネットワーク・セキュリティに関するコース
3つの課題	社内ネットワークのセキュリティ対策を進めたい ⇒【倫理・セキュリティ分野】脅威情報とセキュリティ対策
	デジタル化と新しい生活様式の課題への対応コース
	自社業務に適切なITツールを選定したい ⇒【バックオフィス分野】ITツールを活用した業務改善
	業務プロセスの課題への対応コース
	システム化に伴うコストの考え方を知りたい ⇒【バックオフィス分野】失敗しない社内システム導入
	ビジネスモデルの課題への対応コース
	IoTによるビジネス環境の変化や動向を知りたい ⇒【組織マネジメント分野】IoTを活用したビジネスモデル

○受講対象者
事業主の指示を受けた在職者の方

○訓練日数・時間
おおむね1～5日
(4～30時間)

○受講料（1人あたり・税込）
2,200円～6,600円

○訓練会場
自社会議室等を訓練会場とすることが可能です（講師を派遣します）



訓練受講までの流れ

課題や方策の整理	センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。
訓練コースのコーディネート	相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。
訓練受講	所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



らしく、はたらく、ともに

～生産性向上人材育成支援センター(生産性センター)は、事業主の皆様が生産性向上に向けた人材育成を支援しています～

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部

ポリテクセンター岩手 生産性向上人材育成支援センター



生産性センターHP

(2024.12)

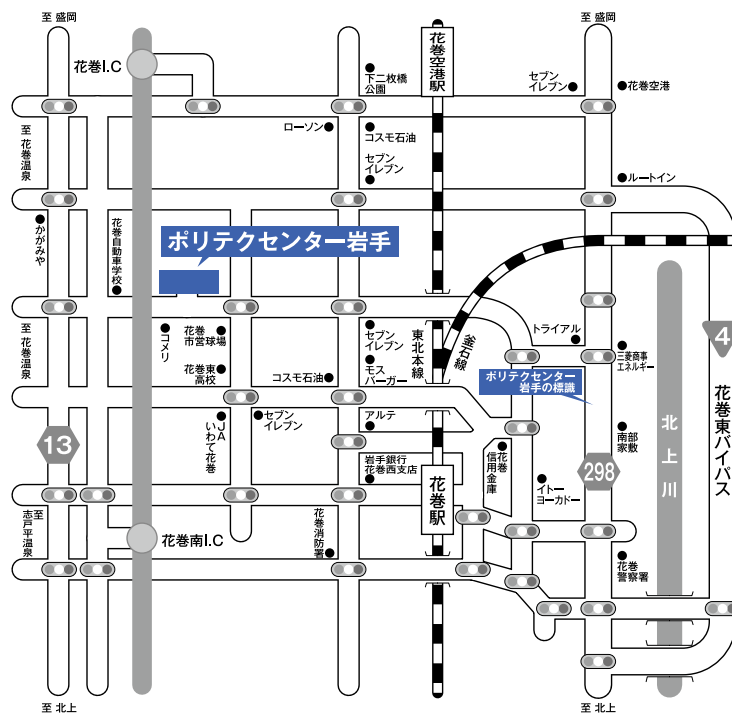
各種ご案内・
お問い合わせ

東北6県の施設一覧

私たちJEEDは全国に約100施設あり、各地域のニーズに合わせた能力開発セミナーを実施しています。
ポリテクセンター岩手で実施されていない内容を近隣の施設で行っている場合がございますので、お気軽にお問い合わせください。

No.	名 称	TEL	FAX	住 所
1	ポリテクセンター青森 (青森職業能力開発促進センター)	017-722-1771	017-777-1187	〒030-0822 青森県青森市中央 3-20-2 訓練課
2	ポリテクカレッジ青森 (青森職業能力開発短期大学校)	0173-37-3201	0173-37-3203	〒037-0002 青森県五所川原市大字飯詰字狐野 171-2 学務援助課
3	ポリテクセンター岩手 (岩手職業能力開発促進センター)	0198-23-5712	0198-23-5355	〒025-0001 岩手県花巻市天下田 69-1 訓練課
4	ポリテクセンター秋田 (秋田職業能力開発促進センター)	018-873-8038	018-873-2960	〒010-0101 秋田県湯上市天王字上北野 4-143 訓練課
5	ポリテクカレッジ秋田 (秋田職業能力開発短期大学校)	0186-42-5700	0186-42-5719	〒017-0805 秋田県大館市字扇田道下 6-1 学務援助課
6	ポリテクセンター宮城 (宮城職業能力開発促進センター)	022-362-2544	022-364-2651	〒985-8550 宮城県多賀城市明月 2-2-1 訓練課
7	東北ポリテクカレッジ (東北職業能力開発大学校)	0228-22-6615	0228-22-2432	〒987-2223 宮城県栗原市築館字萩沢土橋 26 援助計画課
8	ポリテクセンター山形 (山形職業能力開発促進センター)	023-686-2016	023-686-2426	〒990-2161 山形県山形市漆山 1954 訓練課
9	ポリテクセンター福島 (福島職業能力開発促進センター)	024-534-3695	024-533-6610	〒960-8054 福島県福島市三河北町 7-14 訓練課
10	ポリテクセンターいわき (いわき訓練センター)	0246-26-1232	0246-26-1237	〒973-8403 福島県いわき市内郷綴町舟場 1-1 訓練課
11	ポリテクセンター会津 (会津訓練センター)	0242-26-0519	0242-26-1585	〒965-0858 福島県会津若松市神指町大字南四合字深川西 292 訓練課

アクセス方法【ポリテクセンター岩手】



〒025-0001 岩手県花巻市天下田69-1
TEL 0198 (23) 5712 FAX 0198 (23) 5355 URL <http://www.3jeed.go.jp/iwate/poly/>

■JR花巻駅下車 約4km
岩手県交通バス「花巻温泉行き」又は「台温泉行き」乗車 所要時間 約10分
「ポリテクセンター岩手前」下車徒歩3分

■東北自動車道「花巻IC」・「花巻南ICより」約3km
所要時間 約8分



人材に困っている企業様へ

求職人材情報誌を毎月発行しています

ポリテクセンター岩手では、ものづくり分野の「機械系」「電気系」「居住系」の3系で計6コースの離職者訓練を行っています。

前職が事務職や営業職などものづくり未経験の方も多数受講されており、基本的な技術を6ヵ月で身につけてその業界にトライしようとしている方が多く見受けられます。

当センターでは、離職者訓練の受講生の希望職種・希望給料・前職・保有資格・自己PRなどをリスト化した「**求職人材情報誌**」を毎月作成し、企業様の求める人材とのマッチングを行っております。求職人材情報誌は当センターのHPに掲載しておりますので是非ご覧ください。



利用者の声（電気設備施工科 20代女性）

●前職保険営業から電気工事会社に就職

電気に関して興味があったが未経験だったので、学べるところを探していたところ、ポリテクセンターのCMを観て訓練の受講を決めました。座学の訓練では電気の基礎や電気設備工事、実習の訓練では部材の名前や電動工具の使い方を学べたおかげで今の仕事に役立っています。電気設備施工科では電気工事以外にいろいろな分野があり苦手なものもありましたが、訓練生同士で教えあい解決することが出来ました。異業種からの転職でも役立つ知識を得られるので受講してみてください！

●上司の声

電気工事に対しての知識、道具、材料など勉強している為、仕事を覚える速度が速くとても貢献しています。

機械系	CAD/NCオペレーション科 ・CADを使った2D図面の作成、3Dのモデリング ・旋盤やフライス盤を使用した機械加工 ・マシニングセンタやNC旋盤の操作やプログラミング	金属加工科 ・各種工具や工作機械を用いた金属加工の基本作業 ・炭酸ガスアーク溶接、TIG溶接、被覆アーク溶接 ・CADを使った製図やプレス加工機を用いた板金作業
	電気設備施工科 ・住宅や工場、ビルなどを想定した電気設備工事 ・電気機械を制御、点検するためのシーケンス制御 ・家庭用エアコンの据付けや消防設備の設置工事まで	生産システム技術科 ・生産設備を制御、保全するためのシーケンス制御 ・工場の自動化を総合的に学ぶPLC制御 ・空圧、油圧機器の分解、組立などの機械保全作業
居住系	建築CAD施工科 ・木造住宅の法規、構造、省エネとjw_cadの実践 ・かなやのみなどの大工道具の手入れと加工 ・木造在来平屋の新築施工とリフォーム施工	ビル管理技術科 ・ボイラーや燃料に使用される重油などの取り扱い ・冷暖房設備や水まわり設備の施工や保守・点検 ・電気設備の保守・点検

能力開発セミナー受講申込書

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構岩手支部
岩手職業能力開発促進センター所長 殿

能力開発セミナーについて、訓練内容と受講要件（ある場合のみ）を確認のうえ、下記のとおり申し込みます。

●受講申込コース（同じ項目は「同上」「〃」を記入してください）

コース番号	コ ー ス 名	受講料	開講日	ふりがな	性別	生年月日（西暦） 修了証書を発行するために必要です	就業状況	訓練に関連する 経験・技能等
				受講者氏名				
3H511	冷媒配管の加工・接合技術	11,000	11/11	いわてたろう 岩手 太郎	男 女	1999/3/25	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他 （自営業等）	配管工事 2年目
					男 女		1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他 （自営業等）	
					男 女		1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他 （自営業等）	
					男 女		1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他 （自営業等）	
					男 女		1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他 （自営業等）	
					男 女		1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他 （自営業等）	
					男 女		1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他 （自営業等）	
					男 女		1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他 （自営業等）	

●記入者情報（個人でのお申し込みの場合、*印のある欄のみご記入ください。）

申込区分	☐ 会社からの申込 ☐ 個人での申込 （いずれかにチェックしてください）		
（ふりがな）		（ふりがな）	
企業名		事業所名	※事業所が複数ある場合、所在地の事業所名をご記入ください。
法人番号		（法人番号がない場合は 該当するものに○）	A.団体 B.個人事業主 C.個人
所在地*	〒		
業種 （20種のうち 該当する ものに○）	A.農業、林業 B.漁業 C.鉱業、採石業、砂利採取業 D.建設業 E.製造業 F.電気・ガス・熱供給・水道業 G.情報通信業 H.運輸業・郵便業 I.卸売業、小売業 J.金融業、保険業 K.不動産業、物品賃貸業 L.学術研究、専門・技術サービス業 M.宿泊業、飲食サービス業 N.生活関連サービス業、娯楽業 O.教育、学習支援業 P.医療、福祉 Q.複合サービス事業 R.サービス業 S.公務 T.分類不能の産業		
従業員数 （該当するものに○）	A. 1～29 B. 30～99 C. 100～299 D. 300～499 E. 500～999 F. 1000～		
担当者 及び 連絡先	ふりがな*		所属部署 役職
	氏名*		
	TEL*		FAX*
	E-mail*		

- （注）訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報を、利用目的の範囲内で利用させていただきます。
 - ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（各種連絡、修了証書交付、アンケート送付等）及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するイベント等のご案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

送信先 FAX番号：0198-23-5355
E-mail：iwate-poly01@jeed.go.jp